

市民サービス切り捨て予算案をきびしく批判

地下鉄・市バスの民営化やめよ！ 住吉市民病院存続をなど市民の声をぶつける

日本共産党 北山良三議員が代表質問



3月6日、大阪市会本会議で日本共産党大阪市会議員団の北山良三団長が代表して質問をしました。
橋下市長がシャムニを進める、市民サービス削減の「市政改革プラン」や市民の財産の「府への統合」「民営化」などは「都構想」「大阪市解体」の「地ならし」「先取り」だと批判し、市民が明るく暮らせる市政を求めました。
市長の答弁は、質問にはまともに答えられず、「国保料はむちゃくちゃ安い」「敬老パスは」デタラメな政策など聞くに耐えない内容となりました。

市民を苦しめる「市政改革プラン」の撤回を求めて

国民健康保険料の引き上げはやめ、むしろ引き下げを

今でも所得の約2割(所得200万円、40歳代の両親と子供2人の世帯)を占める高すぎる保険料の3%の引き上げはやめよ。

橋下市長 「大阪市の保険料はむちゃくちゃ安い」とのべ、最後に「良識ある市民であれば納得してくれる。(引き上げに)反対するのは、それはもう良識がないとしか僕は思いませんね。」

敬老パスは現行の無料制度を守れ

橋下市長 「大阪市が今までいかに、デタラメな政策をやっていたか」

▼北山議員が議場で示した維新のダブル選挙時政治活動用ビラ



ネットワーキング推進員廃止・ふれあい型食事サービス・老人憩いの家 運営の補助削減をやめよ

橋下市長 「削られた話の1つか2つ取り上げて、ことさら大げさに言っている」

事業・施設の廃止・民営化 府への統合などで 実質的な「大阪市解体」を追及

地下鉄・市バスの廃止・民営化をやめ、地下鉄・市バスの一体運営で市営交通の発展を

地下鉄は大黒字の「優良企業」であり、民営化せず、生み出す利益を市民・利用者に還元すべき。

市内の可動式ホーム柵設置駅は大半が地下鉄など紹介。

市バスは高齢化が進む中、「公共の福祉」としてより求められる。民営化後のバス路線は将来も維持・継続される保証がない。



市バスを廃止・民営化するにはバク大な資金を要し、その資金は借金で調達。市バス事業がなくなることによって市民の税金で返済することになる。

橋下市長 「市バス事業はデタラメ」と言い切って「市民の足と言いますけれど、それぞれの市民がどういう形で自分の負担、ようはお金を払ってラクしようと思えばタクシーに乗るとかいろいろんがある」

**住吉市民病院の廃止、
府立病院への統合をやめ、
小児・周産期医療を
充実させ、現地で建て替えを**

橋下市長 「デタラメな公立病院よりもしっかりとした民間病院が来てくれればいい」「公立病院をあんなところに置いていたら、民間病院が出て来れない、民業圧迫じゃないですか」

**公立の役割をふまえ、
市立幼稚園・保育所の
民営化・廃止はやめるべき**

橋下市長 「ずっと市立の幼稚園やり続けたら、まさに民業圧迫じゃないですか」「市立の幼稚園にはクーラーはない、通園バスもない。サービスは私立の方がいい」

**クレオ、野外活動センター
など市民利用施設の廃止は
やめるべき**

橋下市長 「必要性を言い出したら必要性あるかもわかりませんが」「これはそれほど優先順位が高くない」

**大規模開発・呼び込み形での
税金投入のムダ遣いをやめよ**

橋下市長 「カジノに税金使うなんていつてない。高速道路だって。リニアだって構想は言いましたけど財源全部税金でやろうと考えている」



本会議傍聴者の声



民間看護師の
給料引き上げるべき

民間病院の看護師 女性62才
初めて市議会を傍聴しましたが、橋下さんの答弁は支離滅裂です。何でも民営化することは納得いかない。民間と公務員の看護師の給料を比較していたが、もともと民間が低すぎます。民間看護師の給料を引き上げるべきです。

市長はもう辞めてもらいたい

鶴見区 女性80才
バスの廃止はすべきでない。弱者、障害者が困る。市長の発言は答弁になっていない。もう辞めてもらいたい。市長を変えれば大阪市はよくなる。

市民のこと何も考えてない。
民間のもうけ話ばかり

高齢者施設で働く 女性44才
市長が情けない。市民のことを何にも考えていない。民間のもうけ話ばかりして、公務員攻撃がひどい。市長は独裁です。なぜ黒字の地下鉄を民間企業にするのか。許せない。

市長の本音も
少しわかりつつある

都島区 女性87才
北山さんは質問時間いっぱいまでよく頑張っていました。市長の本音もわかり大変よかったです。会合や地域の活動で生かしていきたい。

住吉市民病院をデタラメ
呼ばわり、許せない

住之江区 男性54才
橋下市長は住吉市民病院を職員の給与の高さをあげて、でたらめな病院よばわりをした。許せない答弁です。区民のみなさんに知らせて何としても公立病院として存続を実現できるようがんばりたいと思います。

